

令和7年度第4回 蓮田市総合振興計画審議会会議録

招集日	令和8年3月26日(木)	
開催場所	蓮田市役所 303～305会議室	
開催日時	開会 令和8年3月26日(木)午後 1時30分	閉会 令和8年3月26日(木)午後 3時00分
出席状況 (委員)	会 長 中山和久	出席・欠席
	副会長 奥沢信男	出席・欠席
	委 員 石井文枝	出席・欠席
	委 員 光野春生	出席・欠席
	委 員 武藤康史	出席・欠席
	委 員 加藤智子	出席・欠席
	委 員 田口桐子	出席・欠席
	委 員 寺澤亜希子	出席・欠席
	委 員 馬場干児	出席・欠席
	委 員 松澤行男	出席・欠席
出席職員 (策定委員、事務局)	<p>【蓮田市総合振興計画策定委員】</p> <p>蓮田市 市長 山口京子 副市長 加藤 繁 総合政策部長 金子 克明 総務部長 高橋 司 環境経済部長 初野 尚久 健康福祉部長 森上 和代 都市整備部長 高橋 宏治 上下水道部長 中田 俊之 会計管理者 柴田 賢次 消 防 長 小野寺 潤</p>	<p>学校教育部長 安田 修一 生涯学習部長 清野 哲 議会事務局長 遠藤 忠則 監査委員事務局長 松永 恭武 都市整備部参事兼道路課長 門井 政治</p> <p>【事務局】</p> <p>政策調整課長 細沼 誠 政策調整課副主幹 木村 幸歩 政策調整課主事 大熊 一輝</p>
傍聴者	0名	
1 開会	開会宣言	
・会長挨拶	《中山会長より挨拶》	
・市長挨拶	《山口市長より挨拶》	

2 議題

続きまして、次第の2「議題」でございます。

蓮田市総合振興計画審議会条例第5条第2項に基づきまして、これからの議事進行を中山会長にお願いしたいと存じます。中山会長、よろしく申し上げます。

・定足数の
確認

(委員10名中9名出席のため、会議の成立)

・傍聴者の
確認

《議長より傍聴者の確認》

(条例に基づき原則公開で異議なし。傍聴者なし)

(1)蓮田市
第6次総合
振興計画
序論及び基
本構想のた
たき台につ
いて

(議長)

初めに、議題(1)「蓮田市第6次総合振興計画 序論及び基本構想のたたき台について」を審議いたします。

事務局から説明をお願いいたします。

《事務局から資料2～4について説明》

(議長)

質問や意見があればよろしく申し上げます。

(奥沢副会長)

資料3の補足資料ありがとうございます。資料をみると、蓮田市が他市と比べて特に運輸業・物流業が多いわけではないことが分かりました。国道122号沿いに大きな倉庫が建ち目立っていますが、数値を見るとさほど多くないことが分かりました。蓮田市は医療・福祉分野の事業所が他市に比べて多いことが初めて分かり感心しました。昔から人を重視、人を財産としている蓮田市が表れており、よい傾向だと思います。

資料2の19ページに、第5次総合振興計画の総括があり、次期計画を作成するには前期の総括が大事だと思います。成果指標の達成状況が記されていますが、市としては、第5次総合振興計画をどのくらい達成したと考えているかを参考にお聞きしたいと思います。それから、第5次総合振興計画との比較で、現行計画本体の3ページ目に、計画策定の視点があつて、4つめに計画を着実に推進するためにPDCAサイクルの記載があります。第6次総合振興計画では成果指標は設定しないのですか。またPDCAサイクルは実施しないのですか。

資料4についてどれもよいと思いますが、強いと言えば案2がよいと思います。これまで40年程度「四季かおる」が続いているので、「ひと・まち・みどり輝く」が代替するものになると思います。短いキャッチフレ

ーズとするならば、案1がよいが、そろそろ変えてもよいと思います。

(細沼課長)

P D C Aサイクルは実施する予定ですが、計画のどこに入れるかは検討中です。また、現状の成果指標については、達成が難しいものも含まれているため、再考も含めて検討しています。第5次総合振興計画は概ね順調に進行していると考えています。

(奥沢副会長)

成果指標のチェックは今後行わないのですか。

(細沼課長)

第6次総合振興計画でも、成果指標を設定して、P D C Aサイクルでチェックしていく予定です。

(奥沢副会長)

分かりやすい指標を設定し、進行管理していくのは第5次総合振興計画では意欲的でよかったところだと思います。ただ、成果指標は事業をうまく評価する指標を選ぶのがなかなか難しいです。成果指標は4割しか達成していないです。もう一つ、主要事業220程度の指標については、8～9割達成していると思っていて、市民も達成度に関心があると思います。主要事業の達成率も参考に示してはいかがでしょうか。

(細沼課長)

主要事業の進行管理の今年度の結果について、A判定が87.5%、B判定が9.5%、C判定が1.7%、D判定がなしで、事業終了したものが1.3%となっています。

(奥沢副会長)

合わせて主要事業の達成率も示してはどうかと思います。

(議長)

単年度ではなく、計画期間中の積み重ねで示していくと市民にとって分かりやすくなると思います。

(石井委員)

理念3案について、どれもよいと感じましたが、私も「四季かおる」はもういいかなと思い、案2がよいと思いました。案3の「とかいなかN O. 1」でもよいと思いました。中身が若者向けで、蓮田市に多い高齢者向けの内容があまり入っていなかったため、案2のようにつながりや

共生が入っている方がよいと思います。少し長いと思いますので、個人的には「輝くひと・まち・みどり つながる幸せ 蓮田」ではどうかと思いました。

(議長)

「共に生きるまち」は長いから省くということですね。長いと分かりにくくなるのでコンパクトにするのもよい案だと思います。

(松澤委員)

3つから選ぶとしたら案2だと思います。少しインパクトが足りないような気がして、「共に生きる」がありきたりなので、資料4の5ページを参考に、「共に創るまち」とした方がポジティブでよいと思います。

資料2の5ページの黄色いマーカー部分にあるように、自助、共助など、何かあった場合に自分たちでどうにかしようというポジティブな感じがあった方が分かりやすく、「創る」はあったほうが若者にも伝わると思います。

(田口委員)

資料3について、農家の減少率についてご回答ありがとうございました。農業をやっている者としては肌感覚に近い結果だと思います。農家が減っている中で、新規参入する方もいるけれど、主業としてやっている農家が減っています。前回、農家は環境維持の働きもしているという話をしましたが、農家の力が削がれている危機感があります。

資料4について、普段子どもたちに関わっている者としては、案3の「とかいなかNO. 1」を子どもたちがよく使っているので、私自身も蓮田市を一言で表現するのに使い、愛着を持っている言葉です。また資料2の24ページを見ても、課題が人口減少、高齢化であることを考えると、子どもたちは大切に、未来を育むことが大切なので、第3案がよいと感じています。

蓮田市民歌がありまして、以前は鼓笛隊で必ず演奏していて、市民体育祭でも流れていました。人の交流を歌っていて、「ころところの通うまち」というフレーズがありました。子どもの頃からその印象を持っていたので、「つながる幸せ」を見たときに市民歌を思い出しました。蓮田市民歌は現在ではあまり前面に出ていませんが、市役所へ電話をかけた時に流れるのを聴くと懐かしく、歌詞を思い出すので、それをアピールした上で「つながる幸せ」を活かしたらいいと思います。定着しつつある「とかいなかNO. 1」を活かしつつ、案2と案3をあわせて、「とかいなかNO. 1 未来を育む つながる幸せ」としてはどうでしょうか。蓮田市民歌の表す「ころところの通うまち」が人とのつながりと未来へのつながりの二つをうまく掛け合わせられるのではないかと思います。

した。

(議長)

ある意味「とかいなか」は定着していて、あくまで今後10年の区切りの中の話で考えていただければ、「ころところの通うまち」というのは100年200年の話で、とりあえずここ10年はどうしようかという視点もいただければありがたいです。

(寺澤委員)

3つならどれでもよいと思いました。案1は一番蓮田市らしいと思いました。案3は、「とかいなかNO. 1」という現実を突きつけられているようで心がざわつきます。それを踏まえて、案2に委員からいただいた「輝くひと・まち・みどり」は素晴らしい案だと思います。また「創る」というフレーズや、市民歌の歌詞を使うというのもよいアイデアだと思います。

(議長)

市民歌の中に、「つながる幸せ」という歌詞は入っているのですか。

(田口委員)

「つながる幸せ」はありませんが、「ころところの通う」が「つながり」をイメージさせると思いました。

(加藤委員)

案3よりも、案2の方がしっくり来ると思います。理由としては、蓮田駅前ののぼりにも「とかいなか」と記載はありますが、働く世代には知られていないようです。また、蓮田市に20年住んでいますが、案3の「未来を育む 幸せ実感」を感じていません。一般市民が思う蓮田市の良いところは、サービスエリアがある、JRの快速が停まるぐらいしか目立つところがないと思っています。案3までは実感できないので、案2が大多数の蓮田市民には一番当てはまる文面だと思います。

(議長)

「とかいなか」は現実でしかないということですね。

(光野委員)

資料2に柔軟性の高い計画準備とあり、分かりやすいKPIをつくり、PDCAを回して進捗管理していくことは非常に大事だと思います。近年はPDCAに加えてOODA(ウーダ)が経営の中では使われています。OODAとは状況の観察をして、方向づけをし、意思決定した上で、

行動を起こすことを短いサイクルで行うものです。PDCAだけでは時間的に遅くなり、社会変化についていけなくなるとも言われています。せっかく基本的な考え方で「柔軟な計画づくり」と謳っているので、KPIも最初のものにずっと捉われるよりは、適宜見直しを行い変えていくことも必要だと思います。その部分をどのように進めていかれるのかお聞きしたいです。

理念について、案2の「ひと・まち・みどり」がよいと思っています。私どもの支店でも、人口ゲイン（人口獲得）に取り組むにあたり、社員全員が市民意識調査結果などを読み込んで、教育・福祉、まちのにぎわいづくり、環境の3つの班に分けることになりました。蓮田市が重視して取り組んでいくことが最初に3つははっきり出ていると感じます。また、共創という言葉は、当行においても常に大事にしている言葉なので、入るとよいと思いました。

（細沼課長）

OODAという言葉、今初めて知ったので、即効性を持って柔軟に動けることを研究したいと思います。どうやったら反映できるのかを検討します。

KPIについて、10年間変更できなかった問題もありましたので、前期・後期5年で見直すか、もう少し短期に見直すかも含めて、柔軟性を持たせて検討したいと思います。

（馬場委員）

資料2の5ページの計画の背景について、前回の意見を取り入れていただきありがとうございます。防災意識を持って取り組むことが今後の計画を進める上で重要だと思います。

30ページについて、公園・緑地・公共公益ゾーンの部分で、災害時の多目的活用拠点になると思いますので、公共スペースを災害時にどのように位置付けるか考えておく必要があると思います。

理念について、私も案2に賛成です。「四季かおる」はそろそろ卒業した方がよいです。

（細沼課長）

公園の災害時の利用という視点は、今後の計画策定の際に考慮したいと思います。

（議長）

私も案2がよいと思います。委員の意見の「共に創るまち」や「輝くひと・まち・みどり」がよいと思います。「輝くひと・まち・みどり つながる幸せ 共に創るまち 蓮田」ではいかがでしょうか。

それでは、続いて資料2の後半の説明をお願いします。

《事務局から、資料2の後半部分を説明》

(議長)

ただいまの説明について、ご質問やご意見をよろしくお願いいたします。

(奥沢副会長)

人口の将来展望について、日本全体が人口減少する中で、どう一定の人口を確保するかが非常に大事だと思います。感想ですが、第5次総合振興計画よりも、強気の人口将来展望の設定だと感じました。前回計画でも社人研推計があつて、もう少し減少する予測で、いかに歯止めをかけるかを検討しました。人口は大幅に減少し、首都圏の人口は地方に分散するという予測でしたが、ここ10年を見ると首都圏は増えているところが多いので、社人研の予測も変わってきていると感じました。蓮田市でも社会増になり、実際はあまり減りませんでした。今回はかなり強めの予測をしていますが、こんな感じでよいのではないかと思います。

31ページの土地利用方針図はシンプルでまとまってよいと思います。お聞きしたいのは、道の駅ゾーンがなくなって、サービスエリアが代用するという話ですが、上り線に次いで下り線にも新しいサービスエリアができれば、よりよい利用の仕方があると思います。また、図の中で、市中央の閩戸地区に工業・流通業務系ゾーンが新たに追加されましたが、さいたま栗橋線から北の部分は市街化調整区域なので、こういうところは交通の利便性もよく、土地利用できれば非常によいと思います。

30ページの公園・緑地・公共公益ゾーンについて、史跡黒浜貝塚に関心を持っています。非常に貴重ですが、あまり有名ではありません。観光客もあまり来ておらず、他と比べても素晴らしいものだと思うので、もっと観光地化して、イメージアップの拠点にしてはどうでしょうか。市役所入口に竪穴式住居があるので、史跡黒浜貝塚の駐車場にして、いつでも休憩に使えるようにし、さいたま栗橋線や122号からも誘導すれば人が来るのではないかと思います。

(議長)

黒浜貝塚の利用についてはいかがでしょうか。

(生涯学習部長)

駐車場の件ですが、市役所に隣接する駐車場は民間のもので使用できませんが、平日は市役所駐車場を、休日は西棟の駐車場を利用するよう案内しています。素晴らしい史跡なので、PRを検討しており、PRの一

つとして東北自動車道の上下線に横断幕を設置しています。横断幕を見て蓮田のサービスエリアからE T C専用出口を出て寄っていただければ、という想いを込めて設置しています。掲示方法や駐車場など課題はありますが、よいP Rができるよう取り組んでいきたいと思ひます。蓮田市は全国でも珍しい標式土器が2つ出ており、市民としても誇りを持っているので、なんとか取り組んでいきたいと思ひます。

(議長)

黒浜では5千年前から養殖を行っていたとも聞いています。宝の持ち腐れにならないように盛り上げてほしいです。

(馬場委員)

岩槻駅前には、発掘された5千年ほど前の「みみずく土偶」が飾っているので、駅前に土器などを飾ってP Rしてはどうでしょうか。

(議長)

ほかにご意見がないようでしたら、議題についての審議は以上です。

4 その他

(政策調整課副主幹)

中山会長、ありがとうございました。

続きまして次第の3「その他」に移ります。事務局から連絡がございます。政策調整課長より説明申し上げます。

《事務局より連絡事項》

審議会委員の任期は令和8年6月30日までとなっておりますが、計画策定途中での任期完了は議論の継続性の観点からリスクがあり、メンバーの入れ替わりにより、これまでの経緯や議論の深堀りが停滞するおそれがあるため、現委員のみなさまには再任をお願いできればと考えています。

会議録はホームページに公開となっておりますのでよろしくお願ひします。

次回の会議予定は7月頃を予定しております。後日開催日程を調整の上、通知を送付します。

5 閉会

(政策調整課副主幹)

続きまして、次第の4「閉会」でございます。

奥沢副会長に、閉会のごあいさつを頂きたいと存じます。

《奥沢副会長より閉会のあいさつ》

(政策調整課副主幹)

以上で令和7年度第4回蓮田市総合振興計画審議会を終了いたします。ありがとうございました。